

下仁田の大地 “3つの魅力”

1 “根なし山”をつくった海から陸への大変動 青岩公園と南牧川エリア

街中からみえる山並みは、昔話に描かれた様なポコポコした形です。“日本の地質 100 選”にも選ばれた“根なし山”(クリッペ)は、アジア大陸東縁にあった岩石が太平洋側にのし上げて移動したものです。この周辺には太平洋でできた良質の石灰岩があり、大いに利用されました。また、山沿いの石混じりの畑地は、こんにゃく栽培の中心地でした。

主な見どころ

【ジオ】青岩公園、7つの根なし山(御嶽、大崩山、四ッ又山、富士山など)、跡倉クリッペのすべり面、大桑原のしゅう曲、宮室の逆転層、蒔田不動の滝、奥栗山溪谷

【文化】白石工業白艶華工場、こんにゃく畑と石積み

【生物】好石灰岩植物(キンモウワラビ、ブコウマメザクラなど)

2 太平洋と日本海を分けた古い火山 鎚川エリア

県境に位置する荒船山は古い火山です。山をはさんで東側は太平洋へ、西側は日本海に流れます。険しい地形の妙義山も古い火山で、石門のような風変わりな岩が多く見られます。荒船風穴は、夏でも冷風が吹き出す地形を利用した絹産業の世界遺産で、近くの神津牧場は、地すべりによる広大な平坦面を利用した“日本最古の洋式牧場”です。

主な見どころ

【ジオ】荒船山、じいとばあ、妙義山・石門群、鶏冠石

【文化】神津牧場、荒船風穴、温泉、鉾山跡

【生物】チャツボミゴケ、妙義山の名がつく植物(ミョウギシダ、ミョウギシャジンなど)

3 東西の文化とモノの交差点 馬山～まちなかエリア

下仁田は東西に流れる鎚川の谷あいであり、上州と信州を結ぶ“下仁田の道”を通して、古来より文化と各種のモノが往来しました。石器時代には信州産黒曜石の通り道となっていて、近世には信州の米や特産の麻や絹、南牧の砥石などが運ばれ、その後、鉄や石灰も運ばれました。山間地に根づいたねぎ・こんにゃくの食文化も楽しめます。

主な見どころ

【ジオ】馬山丘陵・遺跡街道(上位段丘)、下仁田と馬山の平坦面(下位段丘)、不通溪谷、はねこし峡、川井の断層(中央構造線)、下仁田層

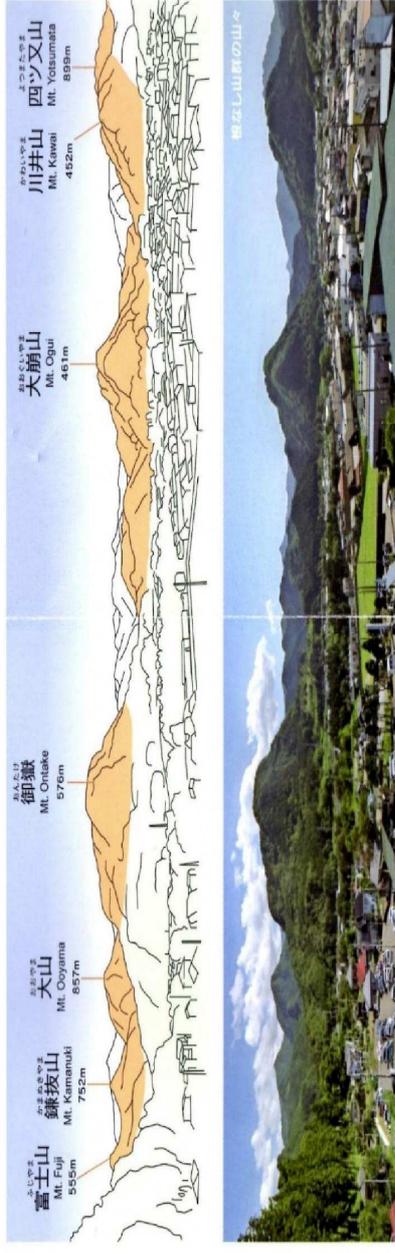
【文化】下仁田のまちなみ、下仁田駅、諏訪神社、下仁田戦争史跡、こんにゃく精紛、高橋道斉の墓、小坂坂峠道、鬼ヶ沢橋梁、本宿の宿場跡、馬山東城跡(米山寺)、あじさい園(段丘崖の利用)

【生物】ねぎ畑

* 1～3に入らない見どころ：中小坂鉄山、虻田福寿草の里

ストーリー①“根なし山”をつくった海から陸への大変動

街中からみえる山並みは、昔話に描かれた様なポコポコした形です。“日本の地質100選”にも選ばれた“根なし山”（クリツペ）は、アジア大陸東縁にあった岩石が太平洋側にのし上げて移動したものです。この周辺には太平洋でできた良質の石灰岩があり、大いに利用されました。また、山沿いの石混じりの畑地は、コンニャク栽培の中心地でした。



日本地質100選 根なし山の山々

根なし山の地盤を作る岩



青岩公園

大昔の海底火山からなる緑色の岩量が特徴の公園です。二つの川の合流点でもあり河原では色とりどりのきれいな石も見られます。



白石工業白艶華工場

石灰岩から炭酸カルシウムを作る工場です。この石灰は大昔のサンゴ礁の名残です。※現在、下仁田で採掘は行っていません。また見学の際は外観からお願いします

大地の大移動の傷跡



跡倉クリツペのすべり面

クリツペの上の地層が動いてきたときの境目です。岩盤が移動してくるたびに、岩盤が壊れた様子が観察できます。



大桑原の褶曲

クリツペの上の地層が移動時に押したたまった様子がわかります。



蒔田不動の滝

クリツペを作る岩の一つ下仁田最古のみかげ石が落差30mの滝を作っています。

主な見どころ

【ジオ】 青岩公園、7つの根なし山（御嶽、大崩山、四ツ又山、富士山など）、跡倉クリツペのすべり面、大桑原のしゅう曲、宮室の逆転層、蒔田不動の滝、奥栗山溪谷

【文化】 白石工業白艶華工場、コンニャク畑と石積み

【生物】 好石灰岩植物（キンモウワラビ、ブコウマメザクラなど）

ストーリー②太平洋と日本海を分けた古い火山

県境に位置する荒船山は古い火山です。山をはさんで東側は太平洋へ、西側は日本海に流れます。険しい地形の妙義山も古い火山で、石門のような風変わりな岩が多く見られます。

荒船風穴は、夏でも冷風が吹き出す地形を利用した絹産業の世界遺産で、近くの神津牧場は、地滑りによる広大な平坦面を利用した“日本最古の洋式牧場”です。



荒船山

かつてカルデラを伴う大規模な火山活動の際に噴出した溶岩台地の名残です。

日本200名山の一つで、ハイカーに人気の山にもなっています



世界遺産 荒船風穴

マグマが作り出す硬い岩が崩れてできた岩場から現在も冷たい風が吹き出す天然冷蔵庫です。

ここには明治時代に、日本最大の蚕の卵の保冷施設があり、富岡製糸場とともに日本の絹産業を大きく支えました。



じいとばあ

一番左の岩峰が「ばあ」、次に背の低い岩峰が「じい」、右側にある平らな岩が「こたつ」と言われています。

火山の噴出物が長い年月、風に削られ、奇岩となりました。



妙義山

群馬県を代表する赤城山・榛名山と合わせ上毛三山と呼ばれている山です。石門群、大砲岩、ローソク岩など、大自然の造形美は見る者に深い感銘を与えてくれます。



神津牧場

物見山を山頂とする巨大地すべりによってできた広大な平坦面を利用した日本最古の洋式高原牧場です。ジャージー牛から搾った新鮮な生乳を原料に、味と品質で親しまれている乳製品を生産から販売まで行っています。



群馬県の石「鶏冠石」

マグマ活動の影響でできたヒ素を含む珍しい鉱物です（毒性があるため採取はできません）



チャツボミゴケ

ミネラル豊富な湧水が湧き出るところに自生する、特殊な環境下でしか生息しないめずらしいコケが生えています。

主な見どころ

【ジオ】荒船山、じいとばあ、妙義山・石門群、鶏冠石

【文化】神津牧場、荒船風穴、温泉、鉱山跡

【生物】チャツボミゴケ、妙義山の名がつく植物（ミヨウギシダ、ミヨウギシヤジンなど）

ストーリー③東西の文化とモノの交差点

下仁田は東西に流れる鑄川の谷あいがあり、上州と信州を結ぶ“下仁田の道”を通して、古来より文化と各種のモノが往来しました。石器時代には信州産黒曜石の通り道となっていて、近世には信州の米や特産の麻や絹、南牧の砥石などが運ばれ、その後、鉄や石炭も運ばれました。山間地に根づいたねぎ・こんにやくの食文化も楽しめます。



本宿 (宿場町)



小坂坂峠道 (下仁田道)



関東で唯一見える中央構造線

日本列島を東西に横切る大断層です。この断層が影響し、東西に延びる鑄川の谷ができました。



川井の断層 (中央構造線)

交流と産業で栄えた町の名残

鉄鉱石、石灰、生糸、材木などの豊富な資源を高崎や東京に運び出すための鉄道が明治30年に開通しました。まちのなかには昭和レトロ的な町並みが今も残っています。



下仁田駅

中央通り



馬山丘陵 (遺跡街道)

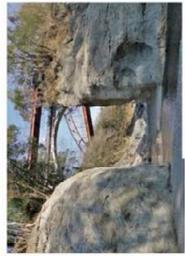
下仁田の馬山地区には大地の隆起と鑄川の浸食の繰り返しによって、できた段丘地形が広がります。

上位段丘は、原始の人の生活面で、古くから様々な地区と交流があったことを示す石器が見つかっています。平坦面は下仁田の特産物「下仁田ネギ」の一大産地になっています。



下仁田あじさい園

馬山丘陵の段丘崖に一面咲き誇るあじさい園。6月中旬～7月上旬にかけてあじさい祭りを開催しています。あじさい園からは、西上州の独特の山並みが見渡せます。



不通渓谷

下仁田と富岡を結ぶ渓谷の一つ。渓谷の下流から段丘地形が広がる山と平野の境目です。



馬山東城跡 (米山寺)

段丘の上は見晴らしがよく、また崖に囲まれることから天然の要塞として山城跡として利用されました。

下仁田戦争関連遺産



高崎藩本陣 水戸天狗党本陣



諏訪神社 秋季例大祭

商売繁盛や五穀豊穡を祈願して建てられた神社で、柱には立派な彫刻が見られます。秋には、天保8 (1837) 年より続いている山車引き祭りが毎年行われています。



諏訪神社

主な見どころ

【ジオ】馬山丘陵・遺跡街道 (上位段丘)、下仁田と馬山の平坦面 (下位段丘)、不通渓谷、はねこし峡、川井の断層 (中央構造線)、下仁田層

【文化】下仁田のまちなみ、下仁田駅、諏訪神社、下仁田戦争史跡、こんにやく精粉、高橋道奇の墓、小坂坂峠道、鬼ヶヶ橋梁、本宿の宿場跡、馬山東城跡 (米山寺)、あじさい園 (段丘崖の利用)

【生物】ねぎ畑

下仁田ジオパークのキャッチフレーズ(案)

【これまでのキャッチフレーズ】

- * 平成 23 年～平成 26 年：多様な大地の変動から古代人の足音まで
- * 平成 27 年～現 在 ：日本列島の誕生をひもとく根無し山

【新キャッチフレーズ (案) A～F】

- A 謎×謎、真実を探し続ける上信国境のジオパーク
- B 町中は、まるごと見どころ～ねぎとこんにゃくの恵み～
- C 大地の変動が残した宝箱～ねぎとこんにゃくを育む川と台地
- D 東西日本をつないだ大地と人の物語
- E ギザギザ、平ら、ポコポコした山に囲まれた不思議な町
- F 集まる石の仲間たち～きれいな石の博物館